



2018年7月2日

報道関係者各位

慶應義塾大学

地方出身者対象・入学前予約型「学問のすゝめ奨学金」を拡充

—初年度支給額を20万円増額し、採用人数を550名以上に—

慶應義塾大学は、2012年度から返済不要の給付型で地方出身者対象・入学前予約型の「学問のすゝめ奨学金」を運用しています。このたび、さらに多くの優秀で多様な学生に入学を志してもらえるよう、条件の一部を見直し、2019年度入学者対象の募集要項を公開しました。

今回の改定により、受給候補者の採用人数が500名から550名以上に変更となり、入学初年度の給付金額が20万円増額、入学2年目以降成績優秀者に対する給付金額も増額になります。これにより、成績優秀者と認められると、一部の学部では実質的に国立大学の学費の半額程度の学費負担で在籍することが可能となります。

また、慶應義塾大学は奨学金だけでなく、学生寮の拡充にも積極的に取り組んでいます。日本全国の受験生が経済的理由で進学をあきらめることのないよう、引き続き魅力のある支援を行ってまいります。

1. 「学問のすゝめ奨学金」の概要（2019年度入学者対象）

■目的

本奨学金は、慶應義塾大学の学部第1学年に入学を強く希望する日本国内（東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県を除く）の高等学校等出身者で、人物および学業成績が優秀であるにもかかわらず、経済的理由により本学への入学に困難を来している受験生に対し、経済支援を行うことを目的としています。

■前年度からの変更点

(1) 受給候補者採用予定人数

<従来>500名 → <改定後>**550名以上**

(2) 入学初年度の給付額を20万円増額

今回の改定により、転居費用等の経済的負担を考慮し、入学初年度の給付額に入学金相当額（20万円）を加算して給付することになりました。

奨学金額（年額）：60万円（※ただし薬学部80万円、医学部90万円）

増額後の金額（年額）：**80万円**（※ただし薬学部**100万円**、医学部**110万円**）

(3) 入学2年目以降の給付額

入学2年目以降は、前年度までの成績に基づく審査により、成績優秀者と認められた者には、当該年度の奨学金額を増額します。

増額後の金額（年額）：

文学部・経済学部・法学部・商学部…**80万円**（20万円増額）

理工学部・総合政策学部・環境情報学部・看護医療学部…**90万円**（30万円増額）

薬学部…**120万円**（40万円増額）

医学部…**150万円**（60万円増額）

■主な特徴

(1) 返済不要・入学前予約型

本奨学金は、返済不要の給付型です。また、選考については、一般入学試験の出願前に申請を受け付け、候補者を決定します。その後、一般入学試験に合格し、入学後に所定の手続きを行うことで奨学生として採用されます。

※本奨学金の候補者としての決定は、慶應義塾大学一般入学試験の合格を保証するものではありません。

(2) 受給期間が最大4年間

本奨学金は、最大4年間受給することができます（医学部・薬学部薬学科は最大6年間）。ただし、卒業まで継続受給するためには、毎年の申請・審査が必要です。

(3) 地域ブロック別

本奨学金は、地方出身者を対象としています。日本国内（東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県を除く）を6つのブロックに分け、地域ブロック間の奨学生数の偏りをなくしています。

■申請受付期間

2018年10月29日（月）～11月26日（月）当日消印有効

※申請資格などの詳細は下記 URL をご参照ください。

<http://www.gakuji.keio.ac.jp/life/shogaku/gakumon.html>

2. 慶應義塾大学の「学生寮」

現在慶應義塾大学の学生寮は計10棟で、総収容可能人数は1524名です。留学生と日本人学生の混住寮、留学生専用寮、食事付の寮など、それぞれ個性を持った多様な学生寮を運営しており、地方出身者や世界各国からの留学生の受け入れのため、学生寮の拡充に積極的に取り組んでいます。詳細は下記 URL をご参照ください。

<https://www.keio.ac.jp/ja/student-life/housing.html>

※ご取材の際には、事前に下記までご一報くださいますようお願い申し上げます。

※本リリースは文部科学記者会、各社社会部、教育部等に送信させていただいております。

本発表資料のお問い合わせ先

慶應義塾広報室（栗原・竹内）

TEL：03-5427-1541 FAX：03-5441-7640

Email：m-pr@adst.keio.ac.jp <https://www.keio.ac.jp/ja/>